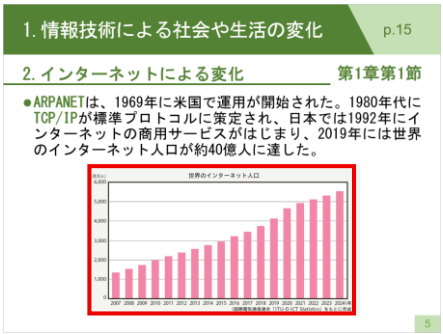
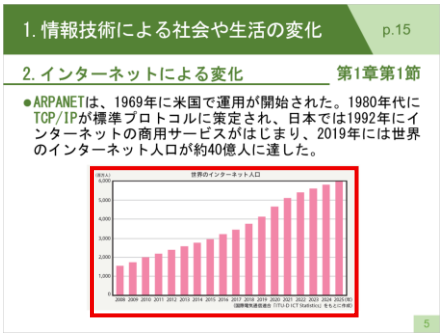
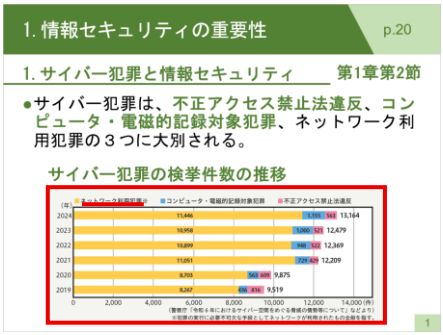
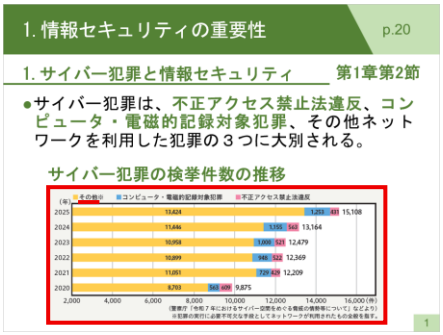
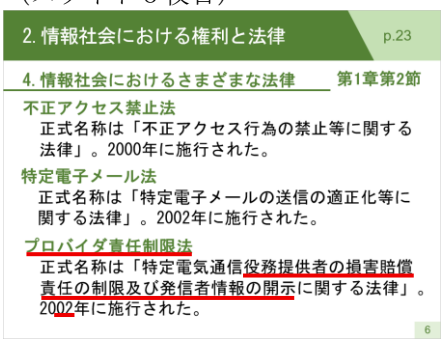
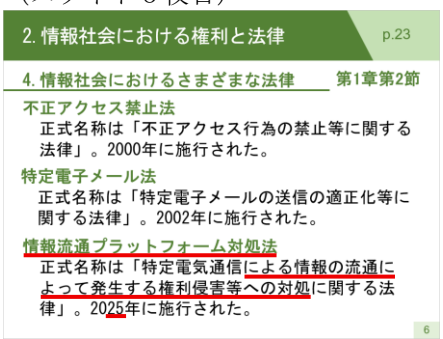
令和８年 10 月

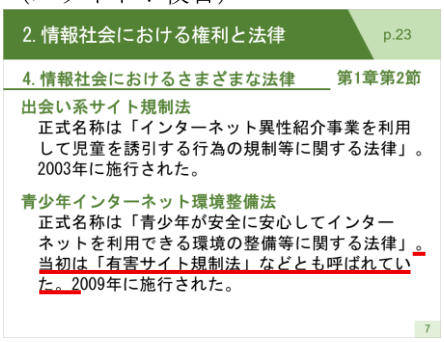
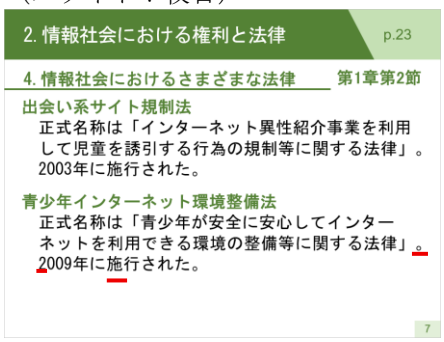
令和８年度版『情報Ⅱ 教師用指導書』訂正のお知らせ

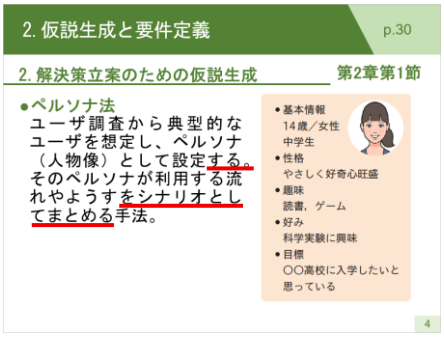
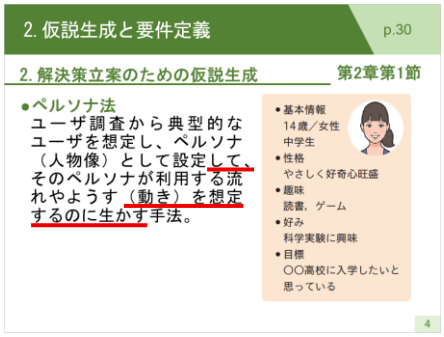
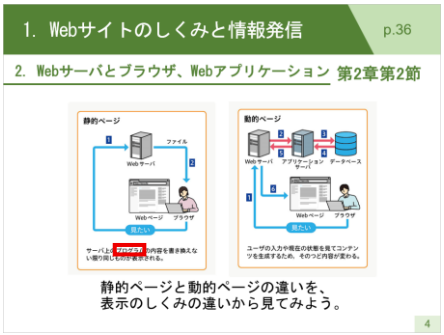
令和 5 年 4 月に発行いたしました教師用指導書に、以下の訂正がございます。深くお詫び申し上げますとともに、訂正内容にご留意のうえご指導いただきたく、慎んでご連絡申し上げます。
ご高配のほど、宜しくお願い申し上げます。

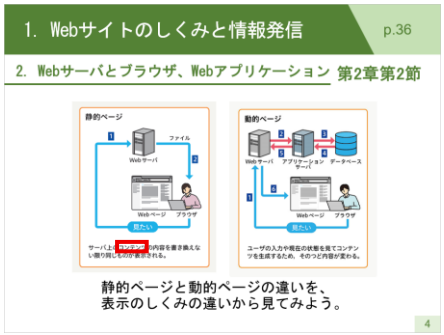
日本文教出版株式会社

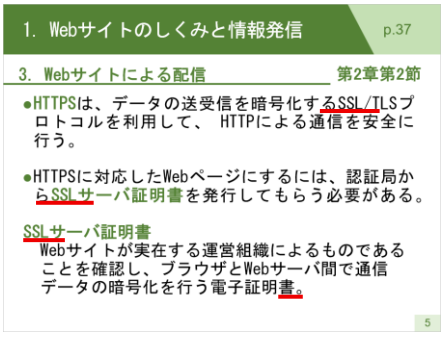
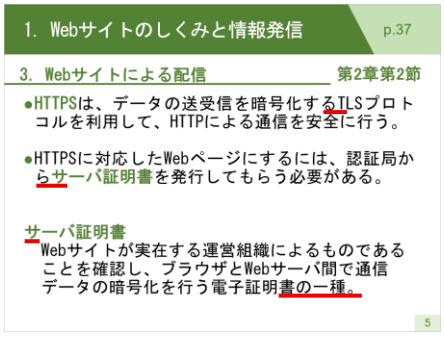
高等学校『情報Ⅱ（情Ⅱ 703）』教授資料デジタルデータ編

訂正箇所		原　　文	訂　正　文
種別	ファイル名		
スライド	1-1-1_p014-015_R5J2	（スライド５枚目） 	（スライド５枚目）  ※グラフを最新のデータに
スライド	1-2-1_p020-021_R5J2	（スライド１枚目） 	（スライド１枚目）  ※「ネットワーク利用犯罪」を「その他」に、グラフを最新のデータに
スライド	1-2-2_p022-023_R5J2	（スライド６枚目） 	（スライド６枚目） 

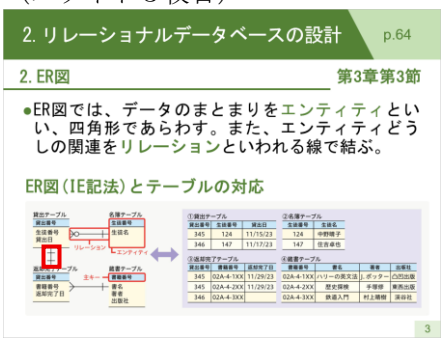
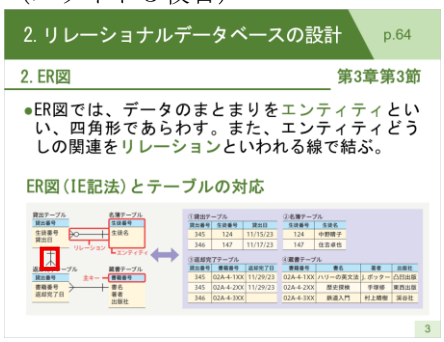
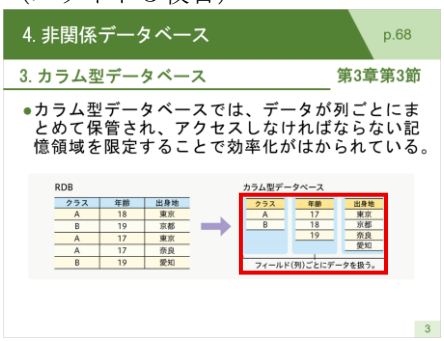
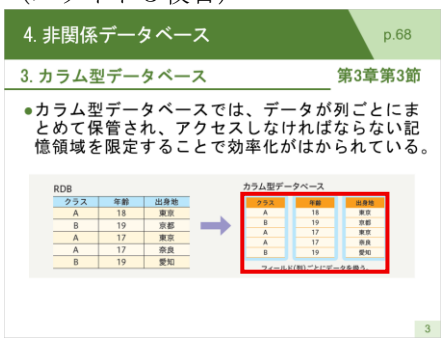
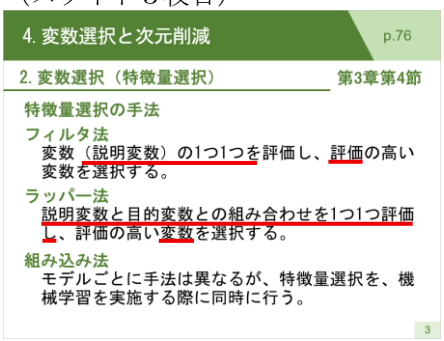
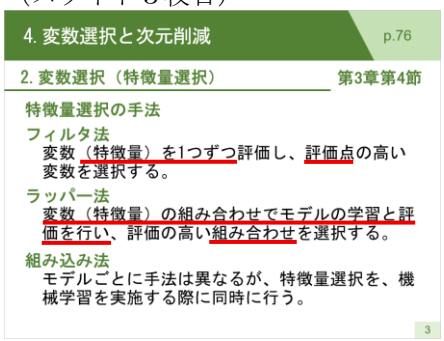
<table>
<tr><td>スライド</td><td>1-2-2_p022-023_R5J2</td><td>（スライド７枚目）

</td><td>（スライド７枚目）


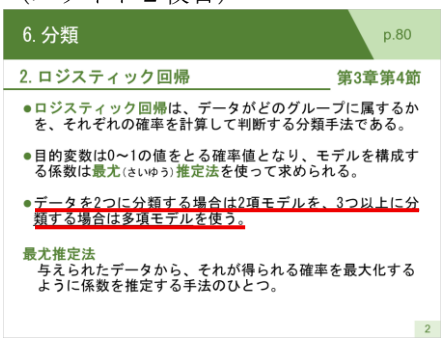
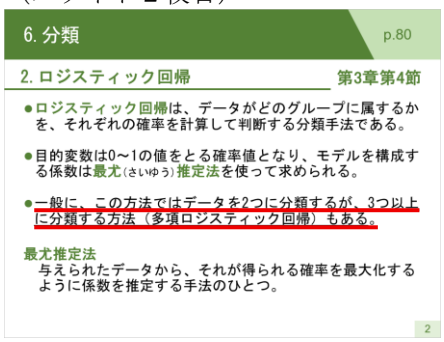
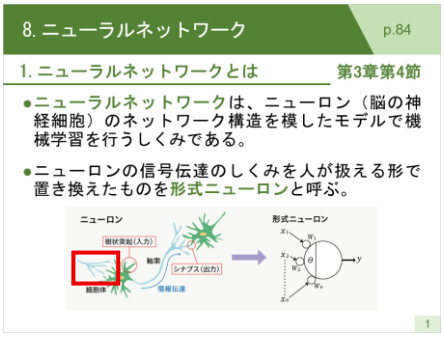
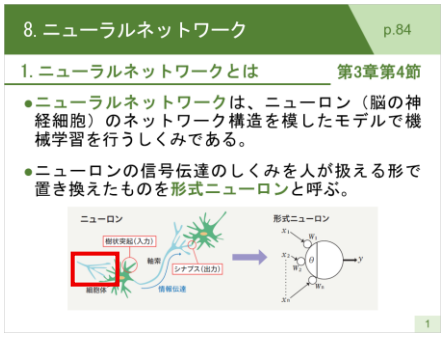
※１文削除</td></tr>
<tr><td>スライド</td><td>2-1-2_p030-031_R5J2</td><td>（スライド４枚目）

</td><td>（スライド４枚目）

</td></tr>
<tr><td>スライド</td><td>2-2-1_p036-037_R5J2</td><td>（スライド４枚目）


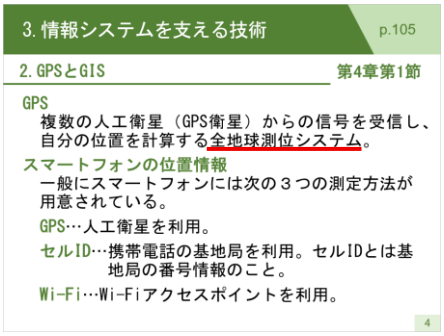
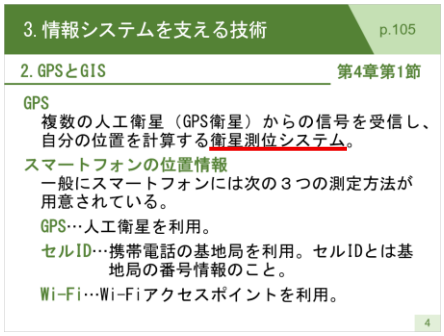
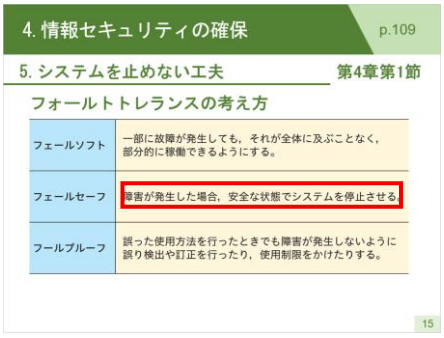
（上図囲み拡大）
プログラム</td><td>（スライド４枚目）


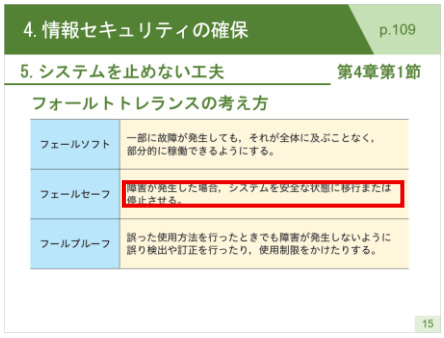
（上図囲み拡大）
コンテンツ</td></tr>
<tr><td>スライド</td><td>2-2-1_p036-037_R5J2</td><td>（スライド５枚目）

</td><td>（スライド５枚目）


※「SSL」を削除。また、サーバ証明書の説明文の一部を修正</td></tr>
</table>

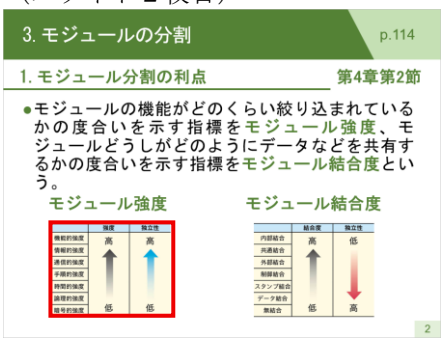
スライド	3-3-2_p064-065_R5J2	（スライド３枚目）  （上図囲み拡大） 	（スライド３枚目）  （上図囲み拡大） 
スライド	3-3-4_p068-069_R5J2	（スライド３枚目）  	（スライド３枚目） 
スライド	3-4-3_p074-075_R5J2	（スライド５枚目）  （上図囲み拡大） ナントナク，フタツニ ワケテオキマシタ	（スライド５枚目）  （上図囲み拡大） ミタメデ，フタツニ ワケテオキマシタ
スライド	3-4-4_p076-077_R5J2	（スライド３枚目）  	（スライド３枚目） 

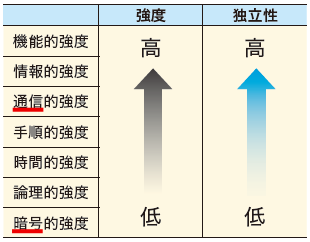
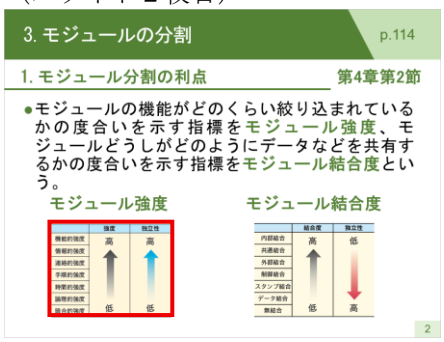
<table>
<tr><td>スライド</td><td>3-4-6_p080-081_R5J2</td><td>（スライド２枚目）

</td><td>（スライド２枚目）

</td></tr>
<tr><td>スライド</td><td>3-4-8_p084-085_R5J2</td><td>（スライド１枚目）

</td><td>（スライド１枚目）


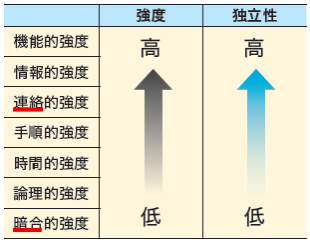
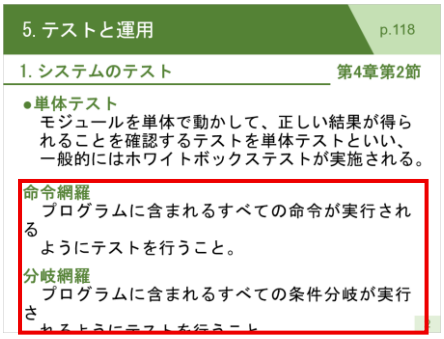
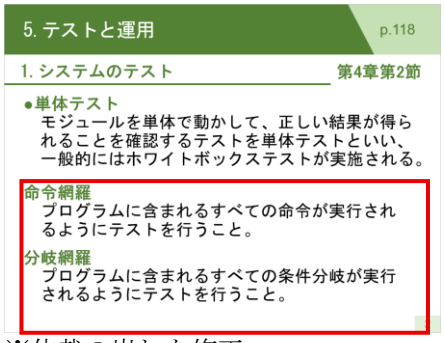
※シナプス（囲みの図）の一部が樹状突起に接触するように調整</td></tr>
<tr><td>スライド</td><td>4-1-3_p104-105_R5J2</td><td>（スライド４枚目）

</td><td>（スライド４枚目）

</td></tr>
<tr><td>スライド</td><td>4-1-4_p106-109_R5J2</td><td>（スライド15枚目）


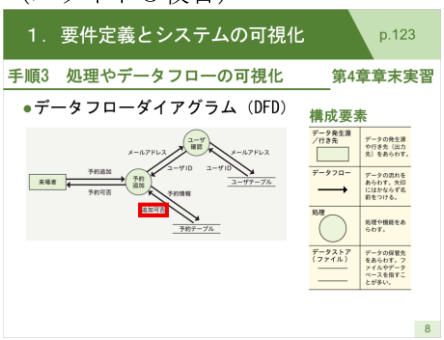
（上図囲み拡大）
障害が発生した場合，安全な状態でシステムを停止させる。</td><td>（スライド15枚目）


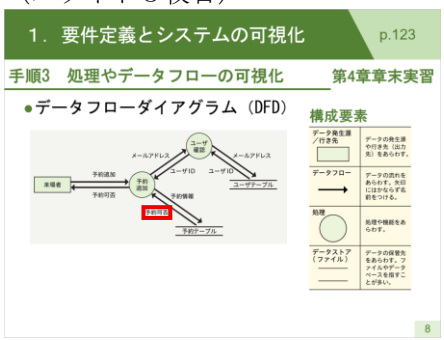
（上図囲み拡大）
障害が発生した場合，システムを安全な状態に移行または停止させる。</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>スライド</td>
<td>4-2-3_p114-115_R5J2</td>
<td>（スライド２枚目）


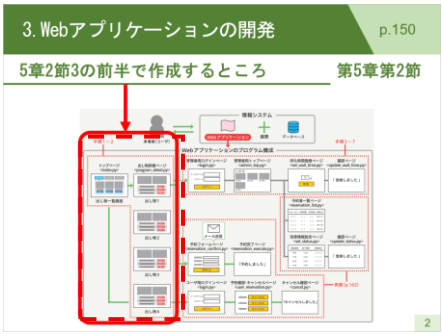
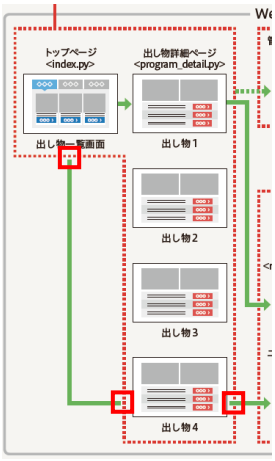
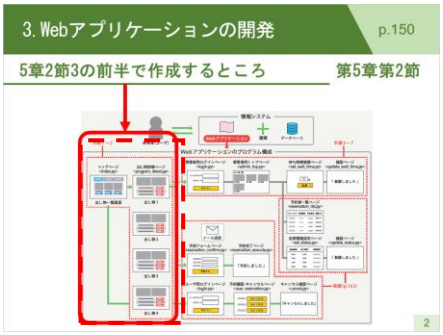
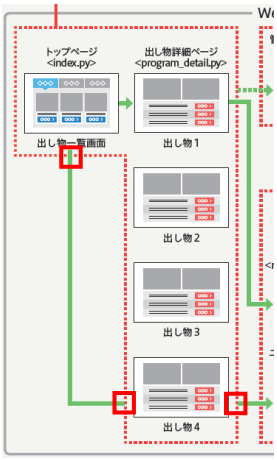
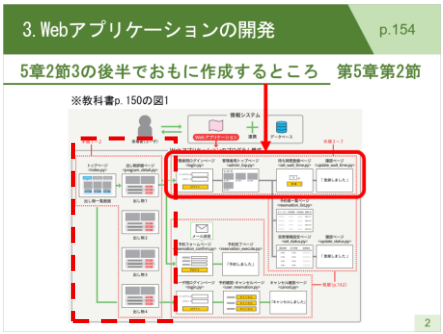
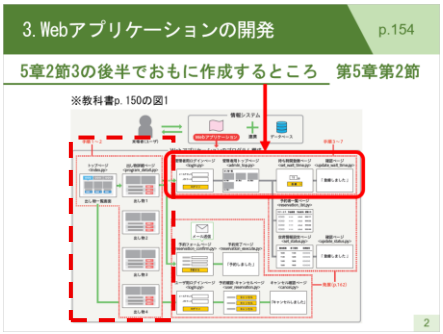
（上図囲み拡大）

</td>
<td>（スライド２枚目）


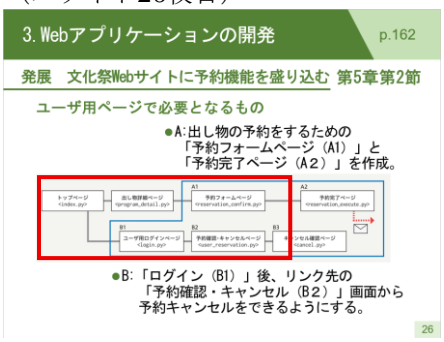
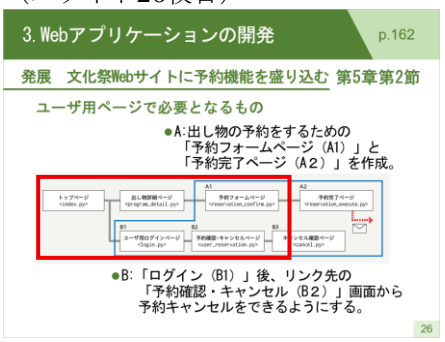
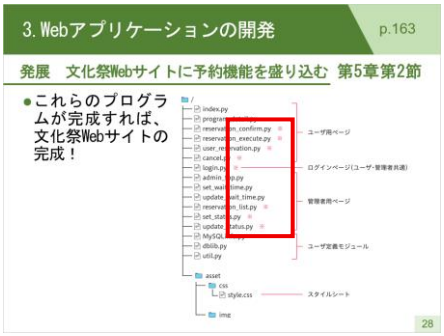
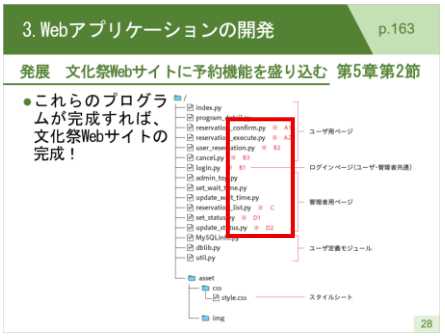
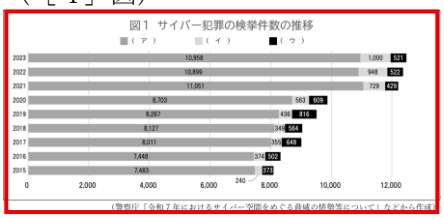
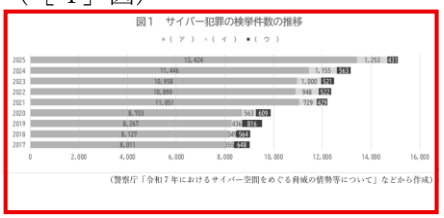
（上図囲み拡大）

</td>
</tr>
<tr>
<td>スライド</td>
<td>4-2-5_p118-119_R5J2</td>
<td>（スライド２枚目）

</td>
<td>（スライド２枚目）


※体裁の崩れを修正</td>
</tr>
<tr>
<td>スライド</td>
<td>4- 実　1_p122-123_R5J2</td>
<td>（スライド８枚目）


（上図囲み拡大）
追加可否</td>
<td>（スライド８枚目）


（上図囲み拡大）
予約可否</td>
</tr>
</table>

スライド	5-2-3_p150-153_R5J2	（スライド２枚目）  （上図点線による囲み拡大） 	（スライド２枚目）  （上図点線による囲み拡大）  ※「トップページ」からのほかのページへのつながりをあらわす線について、始端が「トップページ」から出ていること、「出し物4」を通らないことをはっきりさせるための調整（３か所）
スライド	5-2-3_p154-163_R5J2	（スライド２枚目） 	（スライド２枚目）  ※上記（5-2-3_p150-153_R5J2スライド２枚目）と同じ

スライド	5-2-3_p154-163_R5J2	（スライド26枚目）  	（スライド26枚目）  ※「トップページ」とほかのページとのつながりをツリー状に正す修正
スライド	5-2-3_p154-163_R5J2	（スライド28枚目）  （上図囲み拡大） ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	（スライド28枚目）  （上図囲み拡大） ※　A1 ※　A2 ※　B2 ※　B3 ※　B1 ※　C ※　D1 ※　D2
テスト問題集	テスト問題集R5J2_第　1　回A_1 章	（［4］図）  （［4］選択肢） ①ネットワーク利用犯罪	（［4］図）  ※2024、25のデータを追加し、2015、16のデータを削除 （［4］選択肢） ①その他ネットワークを利用した犯罪
テスト問題集	テスト問題集R5J2_第　1　回C_1 章	（［5］選択肢） ⓪プロバイダ責任制限法	（［5］選択肢） ⓪情報流通プラットフォーム対処法

テスト問題集	テスト問題集 R5J2_第 2 回 A_2 章	（［3］説明文） (1) ユーザ調査から典型的なユーザを想定し，人物像として設定する。その人物像が利用する流れやようすをシナリオとしてまとめる方法を（　ア　）という。	（［3］説明文） (1) ユーザ調査から典型的なユーザを想定し，人物像として設定してその人物像の行動を想定するのに生かす方法を（　ア　）という。
テスト問題集	テスト問題集 R5J2_第 2 回 A_2 章	（［7］説明文） ウ　サーバ上のプログラムの内容を書き換えない限り同じものが表示されるWebページを静的ページという。	（［7］説明文） ウ　サーバ上のコンテンツの内容を書き換えない限り同じものが表示されるWebページを静的ページという。
テスト問題集	テスト問題集 R5J2_第 2 回 B_2 章	（［4］説明文） ～このような行動形態に照らし合わせて，ユーザが「情報を広めたい」と（　イ　）と，ユーザが「商品を買いたい」と（　ウ　）に切り分けてメディアを選別し，コンテンツを配信していくという考え方が広まっている。 　このように，ユーザに効果的に情報を伝えられるメディアの組み合わせをメディアプランニングといい，～	（［4］説明文） ～このような実情に照らして，ユーザの行動形態を，「情報を広めたい」と（　イ　）と，「商品を買いたい」と（　ウ　）とに切り分けてとらえるという考え方が広まっている。 　このように，ユーザに効果的に情報を伝えられるメディアの組み合わせを考える取り組みをメディアプランニングといい，～
テスト問題集	テスト問題集 R5J2_第 2 回 C_2 章	（［1］説明文） エ　ペルソナ法とは，ユーザ調査から典型的なユーザを想定し，ペルソナ（人物像）が利用する流れやようすをシナリオとしてまとめる手法である。	（［1］説明文） エ　ペルソナ法とは，ユーザ調査から典型的なユーザを設定し，ペルソナ（人物像）が利用する流れやようすを想定するのに生かす手法である。
テスト問題集	テスト問題集 R5J2_第 3 回 C_3 章 1-3 節	（［5］説明文） イ　複数のテーブルから構成され，フィールドによって複数のテーブルを結合し，～	（［5］説明文） イ　複数のテーブルから構成され，キーによって複数のテーブルを結合し，～
テスト問題集	テスト問題集 R5J2_第 4 回 A_3 章 4 節	（［4］説明文） エ　単回帰分析で求められる関係式において，決定係数は0に近いほうが誤差が少ないことを表している。	（［4］説明文） エ　単回帰分析で求められる関係式において，決定係数は0に近いほうが誤差が少ないことをあらわしている。

テスト問題集	テスト問題集 R5J2_第 4 回 B_3 章 4 節	（［4］説明文） ア　変数の１つ１つを評価し，評価の高い変数を選択するフィルタ法は，機械学習の後処理として行う。 イ　説明変数と目的変数との組み合わせを１つ１つ評価するラッパー法は，一般的にフィルタ法より計算時間がかかることが多い。 ウ　説明変数と目的変数との組み合わせを１つ１つ評価するラッパー法は，機械学習の前処理として行う。	（［4］説明文） ア　変数を１つずつ評価し，評価点の高い変数を選択するフィルタ法は，機械学習の後処理として行う。 イ　説明変数と目的変数との組み合わせて，モデルの学習と評価を行い，評価の高い組み合わせを選ぶラッパー法は，一般的にフィルタ法より計算時間がかかることが多い。 ウ　説明変数と目的変数との組み合わせて，モデルの学習と評価を行い，評価の高い組み合わせを選ぶラッパー法は，機械学習の前処理やモデル選択の際に行う。
テスト問題集	テスト問題集 R5J2_第 5 回 A_4 章	（［2］オ　選択肢） ②無停電電源装置により，停電が起きたときでも突然に終了することを防ぎ，安全にシステムを停止させることができる。	（［2］オ　選択肢） ②無停電電源装置により，停電が起きたときでも突然に終了することを防ぎ，システムを安全な状態に移行または停止させることができる。

※教科書の訂正にあわせて、教科書紙面 PDF、図版データ、テキストデータにも訂正がございます。詳細は、教科書の訂正案内をご参照ください（https://www.nichibun-g.co.jp/textbooks/joho/2023_joho02/teisei/）。

本内容についてのお問い合わせは、弊社 HP のお問い合わせフォームよりお願いします。
https://www.nichibun-g.co.jp/contact/